



34号
2025年 6月 発行

望° ~ぼう~



花吹雪が舞い散り、桜色の季節が急ぎ足で通り過ぎました。

この「望°」が発行される頃はきっと新緑の瑞々しさを感じる頃・・・時は刹那、まさに一瞬一瞬の積み重ねです。小鳥のさえずりに耳を澄ませたり、眩しいまでに鮮やかな道端の苔を見つけて立ち止まったり・・・それが徒歩通勤の私の“ささやかな発見と感動”です。四季折々の見つけものは、偶然の幸運を手にしたかのような気分にもなり、早春に聞いた春告鳥^{うぐいす}の見事な鳴き声には、惚れ惚れしながら耳を傾けました。

日頃心に残った言葉を気ままに書き留めた15年歴マイノートにも、“ささやかな発見と感動”は詰め放題です。そのマイノートの最初のページに書き留めた「四季の心」という詩は、どこのどなたのものだったのか・・・今となっては記憶の彼方ですが、いつしか自分を支えるエールとなりました。ご紹介して「望°」のご挨拶とさせていただきます。

~四季の心~



人に接する時は春のように温かい心で

仕事をする時は夏のように熱い心で

物思う時は秋のように澄んだ心で

己を責める時は冬のように厳しい心で

生きるとは、暑い日寒い日、上り坂下り坂、迷い道の連続ですね。良いこともそうでなことも予告無しにやって来ます。

それでも味わいや旨味というものは、そうやって引き立つのかも知れませんね。ひとつまみの塩で料理が美味しくなるように・・・。

相談スタッフ 上田順子



《 ペアレントメンター コラム 》

昨年度からメンターとして活動を開始したばかりです。先輩メンターが参加者のお母さんへポンポンと素敵な言葉を返しているのを見て、自分も同じようにできるのだろうかと考えてしまっていました。ですが先輩メンターの『お母さんが褒められる場所だから』という言葉に、少しずつ気持ちが変わっていきました。私自身、参加者のお母さんにどう声を掛けたら良いのだろうかとお悩む事の方が多いです。それでも、話をじっくり聞いたりする事はできるかもと思えるようになってきました。

子ども達へ向ける目も同じで、できない所をどうしようと考えていても中々前には進めないのかもしれませんが。それよりも、できている事・やれている事を見つけて認めていく。難しい事ですが、それを積み上げていく事が一歩なのかと感じました。まだまだメンター見習いのようなものですが、我が子達もまだまだ小学生。一緒に得意な方向を見つけて、一歩ずつ進めて行けたらと思います。

常松沙央里

ペアレントメンターとは...

発達障がいのある子どもの子育て経験を活かして、他の保護者のよき相談相手となれるよう、ペアレントメンター養成研修を受講修了後に、メンター登録をされた先輩保護者のことです。発達障がいのある子どもをもつ保護者の話を傾聴した上で共感的な支援を行い、地域資源についての情報を提供したり、体験談を話したりするといった活動を行っています。

作品ひろば

4月2日の世界自閉症啓発デーからはじまる発達障害啓発週間の間、ウィッシュの相談者の作品を島根県立図書館とウィッシュ松江・出雲の相談室に掲示しました。作品を提供してくださった皆様、ありがとうございました。



島根県立図書館

西部センター ウインドと合同で展示しました😊



ウィッシュ松江相談室

いきいきプラザ島根 2F

松江と出雲の相談室には、この他にも相談者さんの作品を掲示しております。
来所の際にご覧ください😊

ウィッシュ出雲相談室

出雲合同庁舎 1F



発行元: 社会福祉法人 親和会 島根県東部発達障害者支援センター **ウィッシュ**

出雲相談室: 出雲市大津町 1139 出雲合同庁舎内1階

松江相談室: 松江市東津田町 1741-3 いきいきプラザ島根内 2階

TEL: 050-3387-8699 FAX: 050-3730-9745

メール: wish@sazanami-g.jp

HPは
こちらから👉

